



東京多摩みなみワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17

2022年
 10月号
 (第75号)

今月のことば

「わたしはあなたたちのために立てた計画をよく心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」

エレミア書 29 章 11 節 (伊藤江理夫選)

(当クラブは、多摩市社会福祉協議会多摩ボランティア・市民活動支援センターの登録団体です。)

今月の強調テーマ: ASF=Alexander Scholarship Fund (ワイズ創始者アレキサンダーを記念して設置。YMCA 支援のために用いられる)

2022~2023 年度 主題

クラブ会長 伊藤幾夫「みんなで喜びをシェア！」

東新部部长 深尾香子(東京多摩みなみクラブ)

「All 東新部、始動! Change! 2022 ラストスパート、ポスト 2022 始動」

東日本区理事 佐藤重良(甲府 21)「未来に向けて今すぐ行動しよう」

アジア太平洋地域会長 シェン・チ・ミン(台湾)「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

国際会長 K・C・サミュエル(インド)「フェローシップとインパクトで次の 100 年へ」

《クラブ役員》会長 伊藤幾夫 直前会長 深尾香子

書記 田中博之 会計 綿引康司 担当主事 小野 実

10月3日クラブ合同例会プログラム

東京町田コスモス・東京多摩みなみ・東京町田スマイリング

日時: 10月19日(水) 18:30~20:30

会場: 玉川学園コミュニティセンター

ホスト: 東京町田スマイリングクラブ

- *開会点鐘 為我井 輝忠会長
- *ワイズソング
- *今月の聖句
- *ホストクラブ会長挨拶 為我井会長
- *2クラブ会長挨拶 谷治英俊会長、伊藤幾夫会長
- *ゲスト/ビジター紹介 為我井会長
- *再入会式 滝口恵子さん(東京多摩みなみ)
- *東新部部长挨拶 深尾香子部長
- *今月のスピーチ「ネパールのリアルを体験する」
長瀬 優衣さん、ザビン・カナルさん(オンライン)
- *各クラブからの報告
- *YMCA ニュース・各種アピール
- *スマイリング献金
- *ハッピーバースデー
- *閉会点鐘 谷治会長

巻頭言 「鉄道開業 150 周年に思うこと」

1872年(明治5年)10月14日、日本の鉄道の歴史が始まりました。偶然にも87年後の1959年10月14日生まれの私は子供の頃から電車が大好きでした。ただ鉄道ファンは「ネクラ」、「オタク」と言われることが多く、堂々と「電車が好き」とは言えませんでした。今回は鉄道ファンとして一言。現在日本中に新幹線網が広がり、利便性の向上に加え JR の経営効率が重視されている印象です。その陰で並行する在来線は JR から切り離され、民間や第三セクターに経営が移り、便数減少、運賃引上げ、挙句の果てに廃線が議論されています。特に地方ローカル線はやり玉に上がります。本来地域の足であった鉄道は不要なものなのでしょうか。地球環境問題が叫ばれる今日、在来線は電車が主流で、電気自動車時代と合致しています。またディーゼル車もハイブリッド型車両へと移行しはじめました。努力しています。鉄道開業 150 年と大騒ぎするだけでなく、その社会への貢献にも光を当ててもらいたいと願います。また格差社会の中で足手まといになるものが切り捨てられる風潮はいかかなのでしょうか。良い点を見落としてませんか。そう！各駅停車の旅はとても幸せな時間なのです。(綿引康司)



10月の Happy Birthday

綿引康司さん(10月14日)

9月例会	在籍12名 (内広義会員3名) 例会出席7名	出席内訳	メンバー	7名	BF	ファンド	
			メイキャップ	1名	切手	0g(今年度累計 110g)	オークション
			出席率	89%	使用済み切手、少しでもご持参ください	(今年度累計 8,700円)	
			メネット	0名	ぽんぽこファンド	0円	
			ゲスト・ビジター	0名	(今年度累計 10,700円)	スマイル	5,000円
						(今年度累計 23,922円)	

9月例会報告

当クラブ初のハイブリッド例会が、9月6日(火)、ベルブ永山の講座室をリアル会場として開催されました。



当初予定していたゲストスピーカーの都合がつかなくなり、予定を変更して、各参加メンバーの近況報告等のショートスピーチが行われました。複数のメンバーから、東日本区ロースターの掲載項目の充実を要望する意見が出されました。

滝口さんの再入会式は、ご本人の体調不良により、来月に持ち越しとなりました。

ぼんぼこ農園の最近の収穫状況/プランター野菜講座の準備状況等の情報共有、多摩社協・福祉フェスタ/赤い羽根街頭募金への協力要請、来年2月の東西日本区交流会のアピール、スマイル献金が行われ、ほぼ定刻に閉会となりました。(田中記)

《出席者》【当クラブ】石田、伊藤(幾)、伊藤(江)、小野、田中、深尾、藤田(7名)(メーカー：綿引)

9月第2例会(運営会議)報告

9月12日(月)19:00から、Zoomで9月の第2例会が開催されました。例会報告、会計報告、10月/11月例会予定、10月ブリテン構成の確認の他に、以下のことが報告、話し合われました。

- プランター野菜講座：明日(13日)開講
 - ぼんぼこ農園:サツマイモ、サトイモを間もなく収穫する。
 - 例会(司会、受付)、ブリテン記事(巻頭言、今月の言葉)の年度内の当番(輪番制)を決定。巻頭言、今月の言葉は、広義会員にも依頼する。都合が悪い場合は、事前に会長、書記に連絡する。
 - 東新部部大会のプログラムの確認
 - ペルーからのBF代表の接遇スケジュールの共有
 - 会員増強100日間キャンペーンの当クラブの施策として、各自が入会を呼び掛ける友人、知人のリストを作成し、伊藤会長へ送付する。
 - あずさ部部大会/富士五湖クラブ20周年記念例会にクラブとして1万円の祝い金を田中が持参する。
 - 多摩社協・福祉フェスタでの当クラブの活動紹介プレゼン資料案を田中が作成する。(田中記)
- 《出席者》石田、伊藤(幾)、田中、深尾、綿引(5名)

東新部部大会 59名出席、盛会裏に

10月8日(土)13:30~16:40、在日本韓国YMCA9F国際ホールにおいて開催されました。リアル出席は47名、オンライン出席は12名、計59名の出席でした。第1部は式典、深尾部長の開会点鐘で開会。部長の挨拶で、部大会のテーマ“初心に帰って、ユースの声に耳を傾けよう”を述べ、海外にルーツをもつ子どもたちをキーワードとして皆さんと共に考える機会にしようと言われた(写真)。ゲスト・ビジターの紹介のあと、祝辞を東日本



区理事佐藤さん、東京YMCA総主事菅谷さん、在日本韓国YMCA総務朱さんからいただきました。祝辞のあと、昨年度の東新部表彰がなされました。部長表彰は城井廣邦さん(東京むかで)、CS部門表彰として当クラブが表彰されました。第2部の研修では、部大会実行委員長の加藤義孝さん(東京)が、この研修の意義について話されました。「YMCA・ユース・ワイズのパートナーシップがあるからこそ出来ること」を発題を通して学びたいと思います。

発題1は、NPO法人メタノイア代表の山田拓路さんから、「海外にルーツを持つ子どもたちへの支援について」と題してプレゼンがありました。日本YMCA同盟とも連携して、ウクライナからの避難民の子どもたちの支援にも関わっているとのことです。発題2は、在日本韓国YMCA主事の田附さんから「海外にルーツを持つ親・子どもたちへの支援について」。主に在日朝鮮人の歴史的背景についての解説があり、在日2世、3世の現在についてのお話をうかがいました。発題3では、韓国の伝統楽器であるカヤグムの演奏を金幸子



さん、金美仙さんにしていただきました。このあと、会場、オンライン参加の方々による意見交換がなされました。献金35,250円はNPO法人メタノイアと在日本韓国YMCAに折半して贈呈しました。最後に第2部発題についての所感を佐藤理事に述べていただきました。全員の記念撮影を行い、閉会となりました。



第3部は、リアル参加者による懇親会を行い、16時40分に今井次期部長の点鐘で閉会となりました。

(伊藤幾記)

10月合同例会のスピーチ

タイトル：「ネパールのリアルを体験する」

今月は3クラブ合同例会となります。ホストは東京町田スマイリングクラブです。今月のスピーチは、長瀬さんが初めての海外(ネパール)長期旅行で学んだことや感じたこと、この経験を生かして今後実施したいことを中心に発表し、途中、サビンさんがオンラインでネパール現地から、この国の若者が抱える問題や環境問題について発表していただきます。

*スピーカー：長瀬優衣さん

武蔵野大学人間科学科1年。心理学や社会学を中心に学ぶ。今年1月から Parks Global School インターンコーディネーターとして、Y's Men's 活動に参加されている田畑智子さんや他のスタッフと共に英語教室の運営や広報に携わる。今夏、初めての海外旅行としてネパールに行き、現地の生活や学校教育、文化や価値観の差に触れた。日本の若者が抱く諸問題、社会課題への意識・行動の差やジェンダーギャップ、将来の社会変革への無関心さといったことに興味を持っている。



*ゲスト：サビン・カナル (Sabin Khanal) さん

カトマンズ大学の教育学修士課程に在籍し、トレーニングとデベロップメントを専攻している。2021年にインドのジャイプールにある IIHMR 大学の開発研究部で農村経営を専攻し、経営学修士 (MBA) を習得。研修や開発、政策研究、その他の開発研究に興味を持っている。また、現在は研究・トレーニング・開発の分野で働き、ビジネススクールで経営全般の講師を2年間務めた。教育分野でのキャリアを活かし、自分のスキルや知識を提供することで、地域レベルに変化をもたらしたいと考えている。



*通訳：田畑 智子さん(東京町田コスモスクラブ)
筑波大学大学院教育学博士課程在籍中

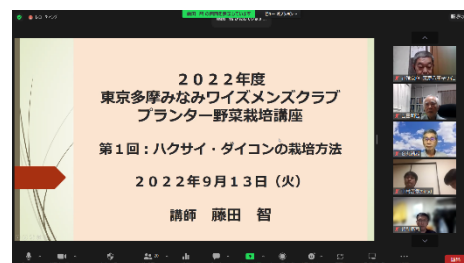
赤い羽根共同募金活動への参加

多摩市社会福祉協議会の登録団体として、10月1日と12日に開催された恒例の赤い羽根共同募金街頭活動に、綿引(1日・聖蹟桜が丘)、石田(12日・永山)そして休会中の峰岸さん(1日・多摩センター)の3名が参加しました。多摩社協の皆さんと一緒に「よろしくお祈りします」の掛け声で、通行する方々に募金をお願いしました。これからも地域と皆様と交流できる活動には積極的に取り組んでいきます。(綿引記)



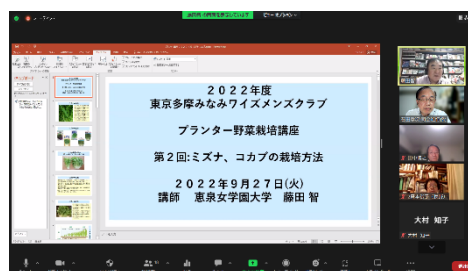
第4回プランター野菜講座スタート

9月13日火曜日にクラブが主催するZoomオンライン講座、「第4回プランター講座」の第1回目が予定通り開催されました。他クラブの仲間やその友人が中心となってご参加いただいています。登録参加者数は25名で、今回は、Y'sの友人にも声掛けし、野菜作りの楽しさ、Zoom画面を共有しながらリモート参加者とのコミュニケーションの場として取組みます。そして、この講座のもう一つの顔が、



チャリティー講座であることです。実費を参加費として頂戴しますが、運営はクラブ

を中心にボランティアで支えられています。支出を抑え残った資金を東京YMCAや地元で地道に奉仕活動をしている2つのNPO法人、高校卒業資格認定受験者を支援する無料塾の「慈有塾」と子ども食堂運営の「ほくの家」に寄付しています。初回講座は、22名がZoom画面に登場してくれました。今回も北海道部の十勝クラブをはじめあずさ部の長野クラブ、三島市からも参加してくれました。10ヶ月ぶりの再会に画面を通してみなさんの笑顔でZoom画面がはち切れそうでした。(笑)また、今回から運営サイドの負担軽減を目的にテーマ野菜の「苗」の梱包郵送作業の手間を軽減するため、可能な人には最寄りのホームセンターで苗を購入してもらうことも試行してみました。果たしてどんな展開になるか。Zoomならではの場所にとらわれないリアル感のあるコミュニケーションの一形態としてワイズの中で広く認知される時が来るのではと感じました。藤田講師による30分の講座が終わり、参加者と藤田講師との即興的なQ&Aでは盛り上がり、活発な質疑応答と爆笑する場面もあり楽しいひと時となりました。前回からの継続参加者だけでなく今回初参加の方々も加わり一緒になって楽しんでいる様子が、画面越しに伝わってきました。9月27日(火)には、プランター



野菜講座の2回目が開催されました。20名が笑顔で画面に登場し、開始前の近況報告で慌ただしく相互挨拶を交わしました。

第2回目のテーマは、ミズナとコカブの栽培です。藤田講師からパワポを使った熱いレッスンを受け、続いて、第1回目の講座のテーマ野菜のミニ白菜



とミニ大根の参加者各位の生育写真を元に講師からワンポイントレッスンを受けました。

マンツーマンのQ&Aは、真剣そのもの。Zoom画面に釘付けになりました。野菜作りは、何回やっても色々な事象が起き、新たな困難に直面します。野菜の生命力頼みのところはありますが、みなさんわが子の発育を祈るような気持ちで真剣に学んでいました。「緊張」の後は、ボケとツッコミの笑いあり、藤田講師のユーモアありで、気がつけば、あっという間の一時間20分でした。(石田記)

ぼんぼこ農園便り

今年は、夏から秋にかけミニトマト、ナス、ピーマンは採っても採っても収穫が続く、嬉しい悲鳴と共に「慈有塾」に新鮮野菜をたくさん届けることができました。今シーズンを通して寄贈した野菜は、ミニトマト200個、ナス180個、ピーマン300個、オクラ10本、落ち栗30個を上回っており、金額に換算すると2万円を超えます。我がクラブの地域奉仕活動、社会貢献活動の重要な実績となりました。

10月4日の午後から農園世話役の佐々木さんと畑の掘り起こしと土壌改良作業を行ってきました(写真)。30度近い炎天下の作業でしたが、いい汗をかくことができました。膝の故障を抱えながらも佐々木さんと井上さんが既に植え付けてくれた大根とコカブの新芽に水をたっぷり撒きました。貯水タンクと水道の蛇口が敷地内に設置されたおかげで、水やり作業がはかどり、楽になりました。今回の作業は、空いたエリアの土起こしと土壌改良、そして畝作りです。次に何を植えるか。葉物野菜は、虫食いの被害があるので遅蒔きの大根の追加とにんにく、秋の恵みを実感できると思います。クラブ関係者への販売と「慈有塾」や「ほくの家」にもおすそ分けを予定しています。ほとんど休む間もなく次々と新たな野菜を生み出してくれるぼんぼこ農園は、佐々木さんや井上さんのご奉仕により支えられています。広々とした園内の畑の中でひと際きれいに整備された農園が、ぼんぼこ農園であり、神学校の農園利用者のお手本の農園として存在感を増しています。お二人に感謝です。(石田記)



甲府やまなみクラブチャーターナイト

9月3日(土)、甲府やまなみワイズメンズクラブのチャーターナイト(国際協会加盟認証状伝達式)が甲府市・ホテル談露館にて開催され、田中が参加してきました。東日本区では久しぶりの新クラブで、75名の参加者一同、喜びを持ってクラブの門出を祝しました。



新クラブの会員数は11名で、当クラブがぼんぼこ農園を始めるに当たって、クラブ農園事業の先輩としてアドバイスいただいた甲府クラブの仙洞田さん(写真左端)が設立準備委員長を務められ、新クラブに移籍もされました。当クラブは6年前の2016年7月17日にチャーターナイトを開催しましたが、そのときの思いを新たにしたいひとときでした。(田中記)

ペタペタの会のご案内

東京YMCA 西東京センターが主催するウォーキングプログラムである、ペタペタの会が、11月3日(木・祝)に、2020年11月以来、久しぶりに開催されます。9時15分にJR高尾駅北口に集合し、多摩森林科学園、八王子城跡を巡るコース(約8km)で、解散は14時の予定です。残念ながら、西東京センターは、常設のプログラムがなくなり、スタッフレスにもなりましたが、西東京センターに関わるひとたちの交流の場を継続し、また、一般の方々にも呼び掛けてYMCAのプレゼンスを維持する機会となることへの願いが込められています。幹事は、西東京センターサポートチームメンバーである綿引さんと田中です。どうぞご家族、ご友人もお誘いいただき奮ってご参加ください。当クラブメンバーの参加お申し込みは、田中まで。(田中記)

YMCA ニュース

担当主事 小野 実

東京 YMCA へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。
以下の通り YMCA ニュースをお知らせいたします。

【予定・報告】

1. **第 31 回インターナショナル・チャリティーラン**
今年も歩数計アプリを利用したウォーキングイベントとして開催します。10月15日～22日は「らくらくウォーク」（個人参加）、10月22～30日には「チームレース」が行われ、現在46チームが参加予定。期間中の10月22日には都立木場公園内に「フォトスポット」を設け、参加者との交流をはかる予定です。

2. 西東京エリア活動検討タスク

基幹事業であった放課後等デイサービスの閉鎖に伴い、西東京センターでの活動が休止となっています。スタッフと会員とでミーティングを重ね、拠点や活動内容、担当者についての決定に向けて協議を行なっています。

今後の主な予定

- ・「ウクライナ緊急支援チャリティーコンサート」

日時：10月28日(金)18:30～

会場：日本基督教団霊南坂教会

参加費：無料（会場で募金依頼）

出演：飯靖子氏(オルガン)、飯頭氏(ヴィオラ)、
方波見愛氏(ピアノ)

- ・「賛助会年会・アドバイザー会」11月9日

会場：学士会館

- ・「第24回愛恵エッセイ募集」

(愛恵福祉支援財団との共催)

11月11日締切

テーマ：「断絶を乗り越えて」

対象：学生の部、専門職の部、一般の部、
外国籍の部

- ・「ソシアス 2022」 11月20日 オンライン

講演：川平朝清氏（元 NHK アナウンサー・
昭和女子大学名誉教授）

「沖縄復帰 50 年と平和について」

- ・「第 22 回日本 YMCA 大会」11月25日～27日

会場：日本 YMCA 同盟東山荘

- ・山手センター70周年記念「リーダー会」

日時：11月27日（日）13:00～

会場：山手センター

多摩社協「福祉フェスタ 2022」でプレゼン

日時：10月16日(日)10:00～15:00

場所：多摩社協（多摩市南野 3-15-1 二幸産業・NSP
健幸福祉プラザ：小田急多摩線唐木田駅徒歩）

当クラブの発表時間は 13:45～14:15 の 30 分間、発表場所は、3階多目的フロアです。

発表の内容は、「ぼんぼこ農園」、「プランター野菜講座」を中心とする当クラブの活動の案内です。

石田さんがパワーポイントを用いてプレゼンします。
ご都合がつく方は是非ご参加ください。

(伊藤幾記)

ワールドクリーンアップデーでゴミ拾い

9月17日(土)はワールドクリーンアップデーでした。

環境問題や地球規模のゴミ対策を呼びかける世界的 NGO 団体「Let's Do It! World」のネットワークで

2018 年から世界各地で実施されています。ワイズメンズクラブ国際協会も 2020 年から参加しています。

一人ひとりが身近なところからゴミ拾い活動をしましょう。当日、私も近隣のゴミ拾いをしました。1時間足らずの活動でしたが大型レジ袋いっぱい回収しました。日々の散歩のときも心がけたいと思います。



(伊藤幾記)

これからの予定

10/19(水) 3 クラブ合同例会（1 ページに詳細）

10/22(土) 湘南・沖繩部部大会 14:00 とつか YMCA

10/25(火) プランター野菜講座④ 19:00 Zoom

11/3(木、祝) ペタペタの会(4 ページに詳細)

11/5(土) 第 2 回東日本区役員会

11/7(月) 第 2 例会 19:00 Zoom

11/8(火) プランター野菜講座⑤ 19:00 Zoom

11/10(木) ワイズデー

11/21(月) 東新部役員会 19:00 Zoom

11/22(火) プランター野菜講座⑥ 19:00 Zoom

11/26(土) 東新部第 3 回評議会

編集後記

今月は合同例会が月半ばにあるためにブリテン発行も月半ばになりました。季節は急に秋になり、衣替えの時期に。紅葉も見られるようになりました。ロシアによるウクライナ侵攻はいつになったら終わるのか。どれだけの命が奪われたのか。

「Change! 2022」もあと 2 か月。クラブでは会員候補者のリストアップを進めています。(i.i)

連絡先：〒192-0023 八王子市久保山町 1-9-3-807 クラブ書記 田中博之（携帯）090-9823-6387

例会日：本例会 第 1 火曜日 18:30～20:00 会場：ベルブ永山（小田急多摩線永山駅徒歩 5 分）TEL 042-337-6111

第 2 例会（役員会）第 2 月曜日 19:00～20:30（オンライン Zoom）

会費送金口座：多摩信用金庫 桜ヶ丘支店 普通口座 0251660 東京多摩みなみワイズメンズクラブ